

重要課題5 環境コミュニケーションの推進による ステークホルダーとの関係強化

地域社会・お客さまとの積極的なコミュニケーション

当社企業グループは、地域社会・お客さまとの信頼関係の構築に向け、環境関連情報を積極的に情報公開するとともに、地域の皆さまと一体となった環境活動を、ともに考え、ともに行動していく「環境コミュニケーション」を推進しています。

TOPICS

「夏休み2018宿題・自由研究大作戦！」へ出展

当社は、2018年8月に、（一社）日本能率協会が主催する親子向けのイベント「夏休み2018宿題・自由研究大作戦！（仙台会場：夢メッセみやぎ）」へブースを出展しました。

環境やエネルギーに関するパネルを用いたクイズラリーや発電自転車の体験等を通じて、エネルギーコミュニケーション活動や、当社の環境への取り組みについて紹介しました。当社ブースには、2日間で計1,700人超の親子に来場いただきました。



当社キャラクター「マカプ」



来場者でにぎわう当社ブース



発電自転車を体験する様子

エコバスツアー

エネルギー・環境保全について、ともに考え行動し、理解を深めていただくため、小学校4～6年生の児童および保護者を対象に、仙台火力発電所・仙台太陽光発電所の見学を行うバスツアーを開催し、12組26名に参加いただきました。

また、発電所の見学後、同日に開催された親子向けイベント「夏休み2018宿題・自由研究大作戦！」（上記参照）の当社ブースもあわせて見学しました。

参加者からは「電気の大切さが分かり、楽しく学べて良かった」などの声がありました。



仙台太陽光発電所の見学

緑のカーテン運動

ゴーヤなどのツル性植物を、建物の窓の外や壁面に張ったネットなどに這わせるように生育させた「緑のカーテン」は、自然の力を利用した省エネルギー対策です。当社は2010年度から、「緑のカーテン」を地域に広める運動に取り組んでいます。

2018年度も、当社ホームページで運動にご参加いただける皆さまを募集し、ゴーヤとアサガオの種子を配布しました。また、栽培

のコツをメールマガジンなどでお知らせしました。皆さまによる栽培活動の様子は、「栽培レポート」として当社ホームページで紹介しています。2018年度は新たに写真コンテストも開催し、緑のカーテン運動をさらに楽しんでいただけるようにしました。

当社事業所とグループ企業においても、事業所内の他、地域の保育園などで子どもたちと一緒に栽培に取り組みました。



事務所ビルの緑のカーテン／福島発電技術センター



保育所の子どもたちとの苗植え／新仙台火力発電所

遠野電力センターでは遠野市の特産品であるホップを活用した緑のカーテン栽培に取り組みました。



子どもたちとのホップ収穫／遠野電力センター



社員交代での水やり／東新潟火力発電所

よりそうエコパートナー

当社の各事業所は、地域の皆さまとともに、植樹活動や清掃活動などの様々な環境活動に取り組んでいます。2017年度は、747件の環境活動を実施し、地域の方々を含めて約2万2,200

名に参加いただきました。2017年度からは、これらの活動を行う際に、当社の社員を「よりそうエコパートナー」と名付けて活動しています。



十日町駅前での清掃活動／十日町営業所（現十日町電力センター）



女川駅前での清掃活動／女川原子力発電所

東北電力グループ海岸防災林復活活動

当社企業グループは、東日本大震災の津波で壊滅的な被害を受けた海岸防災林の復活活動に取り組んでいます。

これは「震災によって失われたみどり豊かな海岸防災林の復活を望む地域の方々の思い」と「東北の復興に積極的に関わり復興を支援したいという社員の高い志、思い」を結びつけ、「津波で被害を受けた海岸防災林復活の手伝いをしよう」という社員ボランティア

東北電力グループ相馬希望の森

2018年5月に福島県相馬市磯部の大洲地区において、近隣の小・中学校とともに植樹活動を行いました。

植樹活動では、当社企業グループから約60名、近隣の小・中学校から約120名が参加し、約2,500本のクロマツを植樹しました。



活動として2013年に始まったもので、宮城県岩沼市や福島県南相馬市での植樹祭を中心に参加しています。

2016年度からは、さらに環境面から地域の復興に貢献していくため、植樹活動「東北電力グループ 相馬希望の森」を実施しています。

荒浜植樹会

2018年6月に宮城県仙台市で開催された「仙台市荒浜植樹会」に参加しました。



グループ企業の取り組み

「とうはつの森」整備による地域環境保全への取り組み (東北発電工業株式会社)

東北発電工業株式会社は、2008年4月に宮城県利府町の県有林にネーミングライツを取得し、「とうはつの森」と名付け、社員・OB・家族が一丸となり「利府の花見山」を目指し、整備活動をしています。

10年目を機に、森のマスコットキャラクター「とうはつの守人（もりと）くん」が誕生しました。

あわせて、遠くから木々の花々を楽しめるよう活動範囲を森の南側まで広げています。

引き続き、社員の一体感、コミュニケーションを深めていく当社のシンボルとして、地域社会の中で環境保全に取り組んでいます。



とうはつの守人（もりと）くん



整備活動当初（2008年4月）



現在の整備されたとうはつの森



エネルギー出前講座

小学校・中学校や地域の学習施設などに社員がお伺いし、手回し発電機や発電所模型などの実験機器を使い、体験型の学習会を行っています。

暮らしの中における電気の役割をはじめ、家庭に電気が届くまでの道のりや発電の仕組み、エネルギーと地球環境の関わりなどについて、わかりやすく説明します。

〔エネルギー出前講座〕

http://www.tohoku-epco.co.jp/syakai/05_energy.html



エネルギー出前講座の様子／宮城支店

発電所見学会

電気の工場である“発電所”の見学を通じて、普段ご使用いただいている電気がどのような仕組みでつくられているのかをご覧ください。それぞれの発電方法のメリット・デメリットを知ること、環境問題を考えるきっかけ作りにもなっています。

〔東北電力PR館のご案内〕

<http://www.tohoku-epco.co.jp/pr/>



新潟火力発電所見学の様子／新潟支店

グループ企業の取り組み

環境学習教室の開催 (相馬共同火力発電株式会社)

相馬共同火力発電株式会社では、エネルギーや環境問題について地域の皆さまとともに考え、行動し、理解を深めることを目的とし、社員が講師となり、近隣の小学生を対象とした環境学習教室を定期的に開催しています。

これからも、社員一人ひとりの環境問題に対する意識の向上を図るとともに、地域の環境保全に貢献していきます。



環境学習教室の様子 (114名参加)

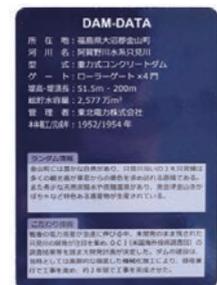
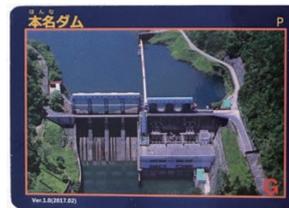
水力発電用ダムの理解促進に向けたダムカードの配布

水力発電は二酸化炭素を排出しないクリーンエネルギーです。

当社は、阿賀野川水系に水力発電用の11ダムを設置し、これらのダムを利用して16の水力発電所で発電を行っています。

当社では、水力発電用ダムに多くの方にお越しいただき、ダムや水力発電について良く知っていただくとの思いで、阿賀野川水系11ダムのダムカードを制作し、道の駅などで配布しています。

ダムカードには、周辺地域の情報なども記載していますので、ダムを訪れる方々が増えることにより、地域活性化のお役に立てればと考えています。





環境関連情報の積極的な開示・情報発信

当社は、1995年度から環境行動レポートを報告するなど、環境関連情報の積極的な発信に取り組んでいます。また、ESG（環境・社会・ガバナンス）投資への注目の高まりなどの動きも踏まえ、環境への取り組みの一層の充実と、ステークホルダーの皆さまへの適確な情報開示および双方向のコミュニケーションに努めています。

CDP気候変動質問書への回答

気候変動分野などにおける企業の情報開示を評価する国際NGOのCDP（旧：Carbon Disclosure Project）からの質問書について、当社は、2018年気候変動質問書の回答を提出しました。



環境省：環境情報基盤整備事業への参加

当社は、環境情報発信に対する取り組みの一環として、環境省の「環境情報開示基盤整備事業」に、2017年度から参加しています。

本事業は、企業と投資家等を結ぶコミュニケーションの場を提供するための実証事業です。本事業で提供されている「ESG対話プラットフォーム」へ当社の環境情報を掲載しており、事業に参加する投資家の方が閲覧できます。また、2017年度には段階的に

ESG情報の開示・対話を実践しながら習得する「ステップアッププログラム」にも参加しました。



※ Extensible Business Reporting Languageの略。効率的な比較分析等を可能にするコンピューター言語で、財務報告分野で広く採用され、国内では金融庁のEDINETや東京証券取引所のTDnet及びコーポレート・ガバナンス情報サービスなどに利用されている

SNAMサステナビリティ・インデックスの構成銘柄に選定

当社は、2018年度「SNAMサステナビリティ・インデックス」の投資対象銘柄に選定されました。

同インデックスは、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント社（SNAM）が、調査会社によるESG評価を重視して独自に銘柄を選定するものであり、「SNAMサステナブル運用」のインデックスとして活用されるものです。



環境への取り組み通信“エコログ”

電気をつくり、おくり、届けるといった電力会社の日常業務には、環境保全に貢献する取り組みが多くあります。

“エコログ”はその環境への取り組みの「いま」について、わかりやすくタイムリーにお伝えする当社ホームページコンテンツです。

火力発電所のCO₂排出抑制や再生可能エネルギーへの取り組み、地域の方々とともに取り組む植樹活動などについて、情報発信しています。



[環境への取り組み通信“エコログ”]
<http://www.tohoku-epco.co.jp/enviro/ecolog/index.html>